

事業所名		きさく				支援プログラム（参考様式）				作成日		R7	年	4	月	1	日	
法人（事業所）理念		○『合同会社 希楽』理念：会社に関わる個々人が『自己肯定感』を育み、『“自分の” やりたい（希望）・楽しい』を追求し、豊かな人生を送ることができるよう、できる限りのサポートをさせて頂く。○『きさく』理念：お子さん本人、ご家族、また関係する皆さんが「気持ちを『華やかに』する」「それぞれが心に『花（＝生きることへの「満足・幸福」）』を咲かせる」ことが日々できるように、一緒に考え、寄り添う。																
支援方針		○お子さんの自己肯定感を育てます。お子さんが自分自身、また他者を尊重できることを目指します。○他者と関わる中で、各々の考えや気持ち等を基軸に、お子さんの社会性の獲得を促します。○お子さんが興味を持てる、楽しく、続けたいと感じられる時間や活動を提供します。○個々のお子さんの意思や自主性を最大限尊重し、それをお子さんが感じられる様、環境を整えます。○様々なことに興味を持ち、自ら考え、挑戦できる気持ちを育てます。○保護者さん、関係者がお子さんの将来を前向きに考えられる様、協力体制を整えます。																
営業時間		9時0分から18時0分まで				送迎実施の有無				あり								
		支 援 内 容																
本人支援	健康・生活	ADLのトレーニング（衣類の脱ぎ着、靴を履く・ぬぐ、階段の上り降り、トイレットトレーニング：オムツ、トレパン、トイレに座る、踏ん張り方の練習、お尻をふく動作）、食事（箸・スプーンの持ち方、食べる量の調整、偏食に対するアプローチ）、生活習慣（手洗いの仕方・タイミング、鼻をかむ動作）、通所準備（リュックの使い方・背負い方の練習、ジャンパーの脱ぎ着、連絡帳を自分で出す練習、物の管理の練習）、片付けの練習																
	運動・感覚	体幹のトレーニング（バランスボール・ディスク、トランポリン、平均台、片足立ち）、筋力レーニング（全身運動：ハイハイ、あひる歩き、綱引き、手押し相撲、走る） 微細運動（ビー玉入れ、洗濯バサミをつまむ、指を動かす）、粗大運動（ボール投げ、ボールのキック、キャッチボール、風船あそび、階段昇降）、リズム・刺激に合わせる（音楽遊び、ゆっくりから早くの動きの練習）、感触遊び（スライム遊び、片栗後粘土、粘土）																
	認知・行動	単語理解（絵カードと単語のマッチング、お絵かきでの色の理解）、指差しでの促進（目と動作の一致、3項関係の確立）、目と手の協応動作（見本を真似て書く○、△、□、手遊び） 注視（間違いさがし、宝探し、絵本の読み聞かせ、折り紙、製作活動）、ひらがな・数字の読み書き・はさみの使い方、集中力・理解（座って話を聞く、指示を聞く動く）、表情理解（喜怒哀楽について絵カードや表情カードとのマッチング）、声の大きさの調整（声の大きさのスケール）																
	言語コミュニケーション	ノンバーバルなコミュニケーションの確立（首を振る、要求のリーチを引き出す、クレーン動作の促進）、バーバルコミュニケーションの確立（声を出す：笑う、泣く、単語の発語、拒否の単語：ダメ、名前を呼ぶ：パパ、ママ、先生）、発語・口の動きのトレーニング（あいうべ体操、舌の動かし方、息の吹き出し方、母音の発音、助詞の使い方：○○が）、会話の時間の継続（15～30分の会話を旨指して、コミュニケーション）、お友達や大人を誘う練習（一緒に遊ぼう、仲間に入れて）、あいさつ（おはようございますなど）																
	人間関係社会性	人間関係の構築（安心感、興味を持ってくれる人との接触など）、遊びの促進（大人と一緒に遊び方の練習、一人遊びから平行遊び、ごっこ遊び）、ルールのある遊びの練習（ドッジボール、椅子取りゲーム）、物の貸し借り（貸して、ありがとう、良いよ）ルソーシャルスキル（こんなときどうするの？、場面設定して正しい行動を考える）、集団遊び（待つ練習、順番に行う練習、話し合う：大根抜き、はないちもんめ）、外出体験（公園遊び、危険察知、手を繋ぐ練習）																
家族支援		お子様の療育についての悩みやご要望・相談等を受け、ご家庭の負担軽減に努め、保護者を通して学校や関係機関と聴き取り、学校や関係機関と統一的な療育を目指します。						移行支援		子どもについて一貫した支援をおこなうため、併行利用先や学校等、関係機関と子どもの状態や支援内容等についての情報共有や支援内容等のすり合わせを行っていきます。								
地域支援・地域連携		ご家庭、連携機関からお子様の療育についてのそれぞれの環境における悩みやご要望・相談等を受け、上記5領域の課題を中心とした助言、指導、共有を行い統一的な療育を目指します。						職員の質の向上		療育観点の研修はもちろん、社会人としてのマナーや、社会人基礎力を身に付ける為の学習、中長期のビジョン計画など、定期的に外部講師を招き研修を実施します。職員は半期に一度面談を行い振り返りと目標設計をします。								
主な行事等		○週一回：バスケットボール ○月一回：ポルタリング・体操教室・英語教室・避難訓練 ○年一回：バザー・音楽祭 ○長期休み（夏・冬）：各外出（工場見学・カラオケ・映画・水遊び・公園・温泉・お祭り・スポーツ観戦 等） ○夏期：プール・流しそうめん ○冬期：雪遊び・スキー ○季節行事：豆まき・ひなまつり・ハロウィン・クリスマス ○不定期：クッキング・実験遊び・制作活動																